

## ニコニコ箱

ありがとうございました

- 三毛理一朗さん 駒井先生、よくお越し下さいました。お話を楽しみにしております。尚名誉会員は例会等色々な会合に出席出来ることをクラブ定款では定めております故、寸暇の節は是非のご光来を大歓迎です。
- 山東 勝彦さん 駒井先生お元気で本日はありがとうございます。
- 内畑 瑛造さん 駒井先生新春放談たのしみにしています。
- 黒田 純一さん 最近嬉しい事が有りましたので。
- 島 公造さん 駒井先生、本日は有りがとうございます。
- 中野 幸生さん 先日家内にお花を頂きありがとうございます。駒井先生のご出席をお祝いします。
- 谷口 文利さん 駒井先生、お話楽しみです。
- 中山 恒夫さん 駒井先生、本日はありがとうございます。お元気でなによりです。
- 山本 進三さん 駒井先生、本日は卓話よろしくお祈いします。
- 山野 武彦さん 駒井先生、御忙しい所有難う御座居ます。卓話を楽しみにしています。
- 瀧川 嘉彦さん 駒井先生、本日はありがとうございます。卓話よろしくお祈いします。
- 糟谷 元春さん 遅くなりましたが、昨年12月23日家内の誕生日に花を頂きました。ありがとうございます。
- 村田 昌之さん 駒井先生、本日は本当にありがとうございます。
- 上中 崇司さん 駒井先生、本日は卓話よろしくお祈いします。
- 佐藤 義記さん 駒井先生、本日宜しくお祈いします。
- 阪神タイガース応援団一同  
駒井先生、本日の卓話よろしくお祈いします。

### 【お誕生日お祝い】

- 野井 晋さん 1月5日で81才になりました。会員皆様の足手まといにならない様心掛けます。宜しく御指導下さい。
- 西本 亨さん お誕生日のお祝いを頂いて。
- 玉置 博康さん お誕生日のお祝いを頂いて。
- 中野 幸生さん 誕生日のお祝いをして頂くのはロータリーだけです。ありがたや、ありがたや!!
- 糟谷 元春さん 満70才になりました。

本日の累計 103,000円(計18名 21件)(誕生日献金 286,000円 皆出席表彰 35,000円 その他 1,201,982円 累計額 1,522,982円)

**本日の例会** 1月30日(木)P.M.6:30~ 於 ダイワロイネットホテル和歌山4F **次回の例会** 2月6日(木)

●ご長寿お祝い例会 ●クラブフォーラム

●ピアノ演奏 中井 利枝さん **前回の例会** 1月23日(木)

よるこびのうた(西村由紀江) 名誉会員 駒井 則彦さん

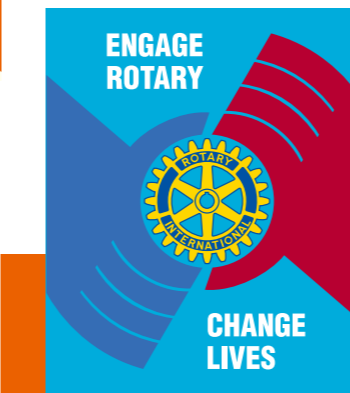
すき(西村由紀江)

●ロータリーソング 乾 敦雄 ソング委員長  
「それでこそロータリー」

**出席報告** 会員数 42名(内出席規定適用免除会員16名) 乾 敦雄 出席委員長

1月23日(本 日) 27名 77.1% 1月 9日(メーキャップ後) 30名 81.1% (欠席7名) **皆さん、出席してください。**

国際ロータリー第2640地区 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073)424-9392 例会日 木曜日 12時30分  
和歌山東ロータリークラブ 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845  
創立/1959年2月23日 会報・広報委員会 亀田 直紀 後 亮 谷口 文利 笹島 良雄 吉増 亨



# 凛として原点に

2013~2014年度  
和歌山東ロータリーのテーマ

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

2013~2014年度  
国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー  
第2640地区 **和歌山東ロータリークラブ**

URL <http://www.werc.jp> E-mail [info@werc.jp](mailto:info@werc.jp)

2014年1月30日(木)  
週報 / VOL.55 No.28  
(通巻2621)

## ●会長報告

村田 昌之 会長



「ロータリーの友」2013年7月号より頁頭に記載されている、「ロータリーの綱領」が「ロータリーの目的」となっていることにお気づきですか？

しかし文章は変わっておりますが、主旨には変わりはありません。

現行のクラブ定款には「綱領」と規定されており、規定審議会に関係なく「ロータリーの友」誌が変更したものと私は解釈しておりますが、今のところ定款ではありません。

私はロータリーについて語るときいつもこのロータリーの友誌の冒頭を飾るページを読むことにしています。このページほど簡潔にしてかつ完璧にロータリーについて語っているところには他にないと思います。是非もう一度ご覧になってください。

来週も続いて四つのテストについてその読み方についてお話をしてみたいと思っています。

## ●幹事報告

上中 崇司 幹事



●昨日市内9R.C.会長・幹事会が開催され、会長と共に出席して参りました。

そこで和歌山アゼリアR.C.より、今年度I.M.開催のお話がありました。

日時 4月26日(土)15:00~ アバローム紀の国(ビッグアイより変更)皆様多数ご出席下さい。

●2月6日(木)例会終了後、クラブ協議会を開催します。

各委員長の皆さんは1月30日までに活動計画書・報告書の提出をお願いします。

●田辺東R.C.より、ジュニアゴルフ大会開催のお知らせ

## ●会計報告

谷口 文利 会計



1月9日に配布しました後期会費の件ですが、その後地区よりライラ中止の連絡がまいりました。すでに納入頂いた方には、ライラ分担金の1,000円を返却させていただきます。またまだお支払い頂いていない方は新しい請求額でお納め下さい。

## ●委員会報告 親睦委員会

乾 敦雄 委員長



次週1月30日(木)午後6時30分より、ダイワロイネットホテルでご長寿お祝い例会を開催しますので、よろしくおねがいします。

## 会員ご紹介のお願い

和歌山青年会議所 会員拡大委員会  
松下 正典 委員長、成瀬 允陽さん、小畑 昇平さん

全盛期は200名以上いた会員が147名まで減少しました。そこで今期は会員拡大に力を注ぎたいと思ってお願ひに來させて頂きました。皆様方のご子息、御令嬢またお知り合ひの方がいらっしやいましたらご紹介下さい。



## お誕生日お祝い

- 中野 幸生さん** 74才になりました。誕生日を祝ってくれるのはロータリーだけです。本当にありがとうございました。
- 西本 亨さん** 78才になりました。皆さんの力をかりて80すぎまで頑張っていきたいと思えます。今後ともよろしくお祈りします。
- 野井 晋さん** 動脈瘤で去年で寿命が終わりかと思いましたが、立派な先生に出会って治してもらい81才まで生きる事が出来ました。今後も皆さんにご協力して頂いて頑張っていきます。
- 玉置 博康さん** 74才です。皆さんと元気で会えるのが嬉しいです。ゴルフは年間100回は行けるよう頑張ります。去年は108回行きました。
- 糟谷 元春さん** 70才になっていいことがありました。去年113回行ったゴルフ場の利用税が無料になったことです。私も年100回以上を目標にして頑張ります。



おめでとうございます!

## 2013~2014年度 第10回理事会報告

日 時：平成26年1月16日(木) 13:40～ 場 所：華月殿 4階 会議室

### 議 題

- 創立55周年記念例会（2/20 18:30 ダイワロイネットホテル）について  
物故会員の黙とうをし、在籍表彰、三毛会員記念誌について、社会奉仕報告の内容で進行することに決まった。
- お花見例会（松本空港R.C. 来和）について  
例年どうりの内容で開催。  
また、松本空港R.C.との関係を今後検討する意見があった。
- ライラ特別分担金について  
地区のライラ事業が取りやめになった。  
特別分担金（1,000円）を会員へ返却することに決まった。
- その他
  - ・会長より事務局の清掃を業者に依頼したことの報告があり、今後毎年清掃することに全員賛同した。
  - ・笹島氏より、国土交通省がおこなっている河川協力団体への申請の報告があり、賛同した。
  - ・クラブ会長会議より岡本浩氏（城南R.C.）をガバナー・ノミニーとして選出された通知があり、賛成した。
  - ・島氏より、例会の食事時間を変更する意見があり、次回I.D.M.で検討することに決まった。

### ● 卓話「新春雑感」

名誉会員 駒井 則彦さん



会員の皆様におかれましては厳しい経済状況のなか、新たな決意を持って新年をお迎えのことと存じます。今年も多くの課題が待ち受けています。中でもエネルギー政策で原発をどうするか、福島第一原子力発電所の事故処理をどうするか、未だに先が見えてきません。今でも放射能に汚染された冷却水が溜まるままで、しかも漏洩し地下水や海水を汚染しています。終息するには後数十年の歳月が必要です。心配なのはもう一度震度7程度の地震が襲えば修復不

可能な大事故になります。

本日は過去の原子力事故についてお話ししたいと思います。

原子力関連施設で事故が起きると放射性物質や強力な放射線が施設外へ漏れ出し、人々の健康や生活、更には経済活動にも大きな被害をもたらします。

事故が発生した時は、国際原子力事象評価尺度（INES）によるレベル0からレベル7までの8段階の数値により公表されることになっています。最悪のレベル7は福島のみです。ソ連（ウクライナ地方）のチェルノブイリ原発4号機が爆発炎上し、多量の放射性物質が大気中に放出されました。直後の死者は作業員と救助隊員を合わせ数十名ですが、放射性物質は気流に乗り世界規模の被爆をもたらしました。WHOら国際共同調査の結果では直接的な死者は最終的に9千人とされていますが、事故処理に従事した作業員85万人の内、5万5千人が死亡したとも発表されています。これでもレベル6です。

1957年にソ連で原子爆弾生産用原子炉5基が爆発事故を起こし、レベル6の事故が起きています。軍事用原子炉の事故は、発表されずに隠されていることが多く、冷戦時代はレベル4、5の事故は数多く発生していると思われまます。

米国で有名なのが1979年のスリーマイル島の原発事故です。設計ミスと人為ミスが重なった事故で、炉心は溶融し、レベル5の事故です。その他、炉心溶融事故では1965年のアメリカのデトロイド郊外のエリンコ・フェルミ1号炉の事故がありますし、レベル3以下の事故は異常事象として事故とは発表されないで正確な数は把握できていません。

我が国では福島第一原発事故以外にレベル4の1999年の東海村JCO核燃料加工施設臨界事故があります。東京電力により隠されていますが、福島第一、第二の原発でレベル3以下の事故が数件これまでに発覚しています。その他、美浜原発、柏崎原発、志賀原発、もんじゅナトリウム漏えい事故、など放射性物質の炉外漏洩事故は多数発覚しています。

世界でも多くの事故が報告されているのですが、これらの原子力事故の原因は自然災害が案外少なく、多くは設計ミス、製造ミス、チェックミス、操作ミス、計器故障など人為的ミスが計器異常です。今後、注意すべきはテロの標的になることで、原子爆弾の破裂以上の災害をもたらす可能性があります。

原爆を搭載した航空機や軍用船舶の事故も報告されています。

許し難いのはソ連が旧式化した原子炉を日本海や北極海に投棄していることです。今後、戦略核兵器を海底に極秘裏に投棄する可能性があります。我が国でも原発の使用済み核燃料の処理方法が未だ決定していません。

チェルノブイリ事故ではウクライナ、ロシア、ベラルーシで癌死が増加していますし、甲状腺がん、白血病なども確実に増加しています。ロシア医科学アカデミーの報告では21万2千人の癌死患者がチェルノブイリ事故に関連しているようです。血液がん（白血病など）は被爆後12年頃が発病のピークですし、固形がんは20~25年後に発見されますから、福島の事故で死亡者なしと政府が報告しているのは噴飯ものです。

チェルノブイリの破壊された原子炉は石棺と称して厚いコンクリートで覆われていますが、地下へ放射性物質がしみだしています。コンクリートは耐用年数が30~40年とされています。いずれにしろ一度メルトダウンした原子炉の処理方法は核反応が終了するまで冷却して核反応を抑える以外方法はありません。このようなことを考えると安全な原子炉はあり得ないのです。

福島の事故以来、ドイツはメルケル首相が従来の原発推進から原発廃止に大きく政策を変えました。わが国もすべての原発が停止している今が最後のチャンスです。科学者の英知を集結すれば、新しい安全で安価な燃料は必ず発見されます。それと地球温暖化の元凶であるCO2をH2OとCに人為的に分解し利用することです。植物がやっていること人為的に行えないことはないと思います。